

CTM-3K専用電流及びKCU通信モジュールインターフェース取扱説明書

警告：CTM-3K の取付は、有資格の専門技術者に委託して実施してください。不適切な取付は設備損傷の原因となる恐れがあります。

● 仕様

電気仕様	
直流電源	9 – 36 Vdc
CT 一次側電流	50 – 3000A (選択可)
CT 二次側電流	1A 又は 5A (選択可)
CT 定格負荷	5 VA以上
静的消費電力	1W @ 12Vdc 以下

物理仕様	
質量	329 g +/- 2%
	0.73 lb +/- 2%
操作温度	-20 – +60 °C
保存温度	-30 – +80 °C
相対湿度	90%以下

● CTM-3K 製品外観

SW1：無負荷電流ゼロ校正ボタン

CTM-3K とコントローラが正常に接続されている状態で、ゼロ校正ボタンを 3 秒間長押しすると、電流ゼロ校正を実行できる。L1 表示灯が赤 / 緑で交互点滅すると、ゼロ校正完了を示す

L1：状態表示灯

● 緑灯点灯：直流電源供給中

● 赤灯点灯：コントローラとの接続中断

● 緑灯点滅：正常動作中 (CT 二次側変比 1A)

● 赤灯点滅：正常動作中 (CT 二次側変比 5A)

J1：通信接続ケーブルソケット

誤挿入防止キー構造のため、逆接続はできない

SW2：CT 二次側電流設定スイッチ

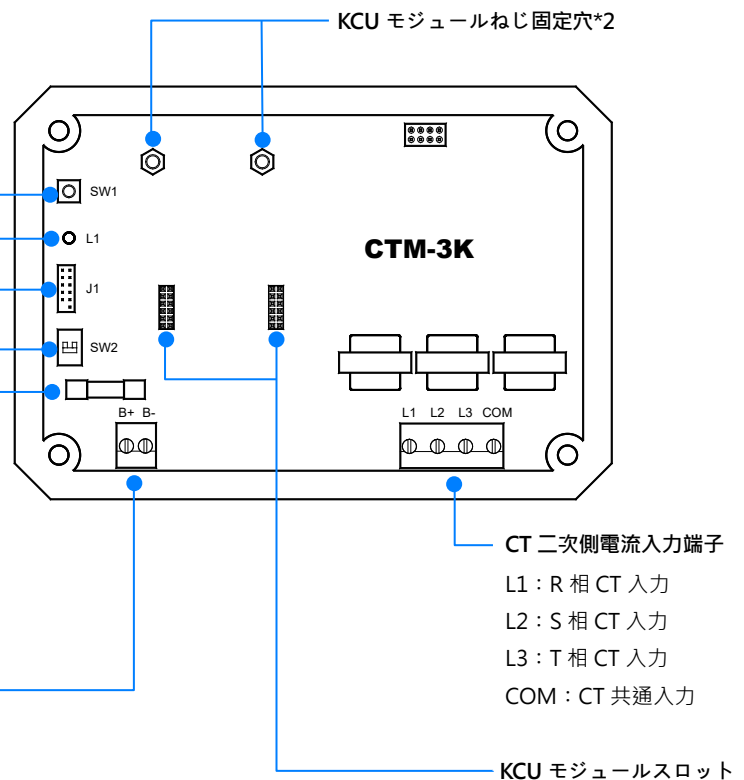
ON - 1A / OFF - 5A

保護ヒューズ：2A / 250Vac

直流電源入力端子

B+：直流電源正極入力

B-：直流電源負極入力



取扱説明書ダウンロード



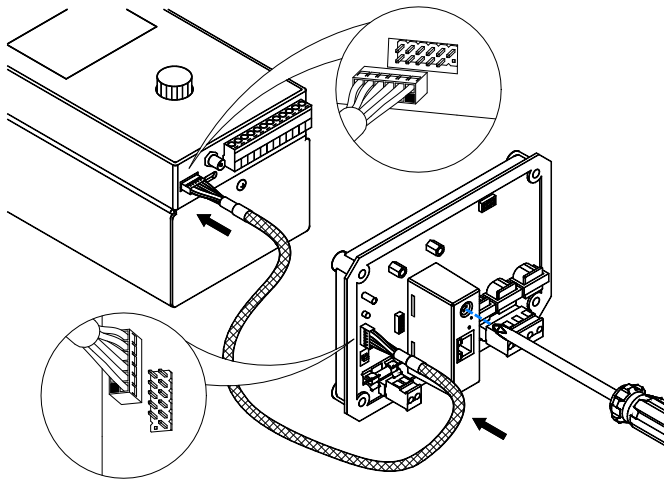
製品カタログダウンロード



KUTAI 公式サイト



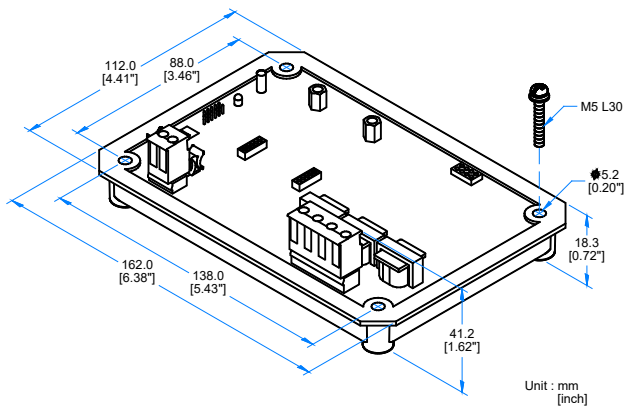
● 取付および配線



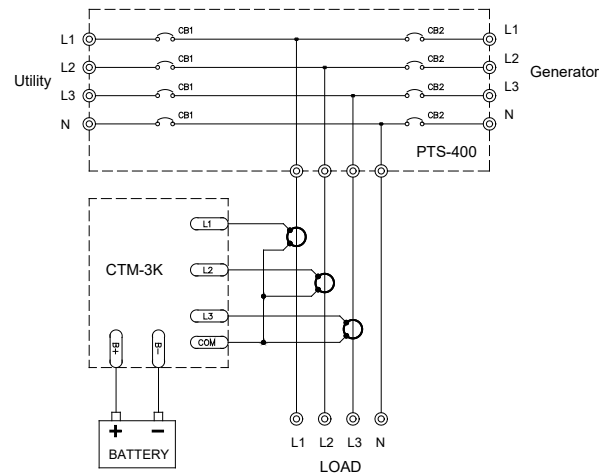
CTM-3K 取付ステップ

1. CTM-3K を電気筐体内の適切な位置に固定して取り付けます
2. 負荷変流器 CT は三相四線式結線方式を採用し、CTM-3K の米国規格入力端子に接続します (推奨結線図を参照)
3. CT 二次側変比に応じて、SW2 を 1A または 5A に正しく設定します
4. KCU-XX モジュールを通信スロットに固定して接続します。2 組のスロットに順序の区別はなく、自由に使用できます (KCU モジュールが不要な場合は無視してください)
5. 通信接続ケーブルを接続して制御ユニットと連結します。通信ケーブルソケットは誤挿入防止設計です
6. 直流電源 (9-36 Vdc) を接続して CTM-3K の動作電源を供給します。正負極性を逆接続しないでください
7. 制御ユニットで CT 電流変比を設定します

● 外形寸法および推奨結線



外形寸法



推奨結線

● 付属品

項目	品名	説明
標準付属品	HU-050-KCU-09	500 mm 通信接続ケーブル
オプション品	HU-100-KCU-09	1000 mm 通信接続ケーブル